

# 浦和高校卓球部活動記録

2017年度(下半期)大会実績 2018/2/8



県大会 団体1回戦 対熊谷高校



県南地区予選より 三木・房野組

## 新人大会 県南予選 1月

### 団体戦

2回戦	浦和	3-0	大宮開成
3回戦	浦和	3-0	大宮南
4回戦	浦和	3-2	伊奈学園
準決勝	浦和	0-3	いずみ

**ベスト4!**

### 個人戦 予選通過者

シングルス 坂上 best24

ダブルス 福屋・吉岡 三木・房野 best16



県大会団体戦 浦高ベンチ

## 新人戦 県大会 2月

### 団体戦 1回戦

浦和	0-3	熊谷
三木	0-3	飯嶋
島田	1-3	澤田
三木・房野	0-3	坂本・飯嶋
房野		坂本
坂上		四分一

### 個人

シングルス 坂上 1回戦敗退

ダブルス 吉岡・福屋、房野・三木 1回戦敗退

## 新人戦を振り返って

### <地区大会について>

今大会では、シングルス10名、ダブルス5ペア、団体戦はメンバー8名が大会に出場しました。特に団体戦では、埼玉栄高校、浦和南高校と川口県陽高校の3校が県大会4シードで不在のため、地区大会1位を目標に掲げ、試合に臨みました。結果は、シングル坂上、ダブルス福屋・吉岡ペア、房野・三木ペアが県大会出場を決め、団体戦では、南部地区第3位になることができました。

### 反省点

自ら仕掛けたボールを得点できたり、ラリーが長く続く試合が多かった中、それ以外のところでのミスが惜しかったと思います。特につなぐ球としてツッツキやストップで浮いてチャンスボールとなり決められて失点が続いてしまいました。日頃から基本技術として練習していましたが、いまいち実践を想定した練習が少なかったと思います。一球一球の回転を見るよう意識づけ、技術向上に向け反復練習を重ねていきたいです。

### <県大会について>

シングルス坂上、ダブルス福屋・吉岡ペア、三木・房野ペア、団体では熊谷高校と対戦しました。いずれも初戦で敗退し、実力不足を感じる県大会となりました。

### 反省点

今大会では、レシーブの時点で失点が多く見られました。県大会など上位に行けば行くほど、相手の技術も高くなっていきます。レシーブ力を高めることが求められますが、レシーブは相手により変化するため練習が難しい技術です。そのためにはまず、自分のサーブでの得点率を上げていくことから練習していこうと思います。自分のサーブ2本で確実に取れば、レシーブで余裕を持つことができます。これからの練習として個人でサーブについて考える時間を作り、対人でより多くのサーブからの展開を練習できるよう重点的に行なっていきたいと思っています。

部長 亀井 優作



## 茨城・埼玉交流強化練習会 2017/10/28 茨城県結城市鹿窪体育館



埼玉、茨城両県から選抜された選手による強化練習会です。A~D リーグ各8名による対抗戦です。先日行われた地区大会の成績により浦和高校から坂上、島田の2名が県選抜選手として参加しました。



坂上 Cリーグ 3勝5敗



島田 Dリーグ 4勝4敗

## 栃木県中部強化練習会 参加 12/27 栃木宇都宮

対戦校は栃木県を中心とした県4～16レベルの高校

### 秋～冬季の活動について

練習試合相手校：松戸六実・東京成徳大付属・蕨・伊奈学園・川越東・埼玉平成・坂戸・春日部・坂戸西・大宮北・・・  
他に栃木県中部強化練習会(栃木宇都宮)、

#### 慶大卓球部練習参加 (1/14)

慶應義塾大学卓球部の練習に参加させて頂きました。



練習メニュー、雰囲気作り、技術的なこと等、色々と学ばせて頂きました。

今回の新人大会に向けては、県内外の学校との練習試合をはじめ、実践経験を多く積むことで、これまで以上の結果を狙ってきました。その結果、練習の成果が結果に現れてくれた部分、悔しい思いをした部分諸々でしたが、応援を含め選手たちはよく頑張ったと思います。印象的だったことにいくつか触れたいと思います。

まず、県南予選ですが、全種目、全選手県大会進出をかけて戦いました。その結果、1年の坂上が敗者復活に回るも、初戦で勝利し、代表決定。また、ダブルスでは2年の吉岡・福屋ペアと1年の房野・三木ペアがそれぞれ、いずみ、浦和南のペアを倒し、ベスト16まで勝ち進んだことが1つの収穫でした。ダブルスの練習を、計画的に目的意識を持って取り組んだことがよかったのだと思います。個人ではその他の選手、ペアも勝ち進み、惜しいところまでいきましたが、なかなか格上の相手、自分にとって苦手な相手等との試合で、勝ちきることの難しさを感じたことと思います。そして学校対抗ですが、地区1位を目標に挑みましたが、惜しくもいずみに破れベスト4。ベスト4決定の伊奈学園戦は1つの山場と捉えていましたが、何とか勝てたのはよかったです。試合の流れとしては、3番のダブルスが終わった時点で、1-2でビハインドという状況から4、5番が取ってくれ、逆転勝ちという形でした。そして、一番印象的だったのは、応援です。部員が20名以上いる中で、実際に試合に出る選手は半分以下という状況ですから、試合に出ない部員たちがいかに応援に心をこめられるのが大切だということはひしひしと感じています。会場全体に響き渡る応援によって勇気づけられた選手は少なくなかったと思います。

そして県大会ですが、勝ち上がるには力不足でした。県大会の雰囲気に押し負けてしまったところもあると思います。随所に光るプレーが見られたのは確かですが、「勝てる」卓球とは何かを各選手たちが考えたことと思います。

今回の経験を糧に今後も成長し続ける部活でありたいと思っています。田端OB会長をはじめ、OBの皆様、今後とも、応援、ご支援のほどよろしくお願い致します。

顧問 大澤 海

追記 この度、OB会Homepage（試行版）をたちあげてみました。

今後の情報発信、会員相互の連絡等使っていきたいと思いますので是非ご覧いただき、ご意見感想等頂けたらと思います。